

平成31年2月吉日

保護者のみなさまへ

平成30年度川西南中学校学校関係者評価および提言について

少しずつ春の気配を感じる日が多くなってまいりました。保護者の皆様方には、日頃より本校教育活動に、ご理解・ご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、学校教育アンケートの調査結果を経年比較し、分析・検討したものを、学校評議員会としての学校評価・提言といたします。

川西市立川西南中学校評議員会

代表 大矢根 秀明（PTA顧問）
吉田 雅紀（加茂小校区）
田中 里香（久代小校区）
佐々木 智栄子（現PTA）
穂鷹 美紀（現PTA）

1、アンケート内容と傾向分析について

「目指す生徒像」「学習面について」「学校規律について」の三つの大項目と、それぞれに小項目を設け、A(大いに当てはまる)B(当てはまる)C(あまり当てはまらない)D(全く当てはまらない)の4段階評価を実施し、それを点数化することにより客観的な分析を行い、学校の現状を知る方法としました。

調査対象は三者(生徒、保護者、教職員)で、経年比較は3年分となります。

生徒評価は20項目中、良好な項目が11項目、課題のある項目が1項目。

保護者評価は19項目中、良好な項目が6項目、課題のある項目が1項目。

教職員自己評価は18項目中、良好な項目が6項目、課題のある項目が2項目。

《三者の評価に共通する項目》

良好な項目 ➡ 「頭髮、服装が整っている」「静かに素早く整列できる」
「清掃活動にしっかり取り組んでいる」

課題のある項目 ➡ 「家庭で勉強する習慣がついている」となっています。

《3年間の経年比較》

生徒評価の上昇傾向 ➡ 「あいさつを良くする」
「先生はあなたのことをよく理解してくれている」
「先生はいじめのない学校にしようとしている」

保護者評価の上昇傾向 ➡ 「清掃活動によく取り組んでいる」

保護者評価の下降傾向 ➡ 「教職員は一生懸命授業をしている」

教職員評価の上昇傾向 ➡ 「静かに素早く整列できる」
「清掃活動にしっかり取り組んでいる」

教職員評価の下降傾向 ➡ 「目指す生徒像のあきらめず、粘り強く」

以上のような傾向を総括いたしますと、改善されてきた点としては「学校規律」と「生徒理解」、改善・努力していく点としては「家庭学習の充実」と「授業改善」を求められているといえます。

今後の目標としては、昨年に引き続き、生徒評価の「学校に行くことが楽しい」

という項目が上昇していくような学校運営を推進していく必要があります。

2、各項目分析について

(1)めざす生徒像

「あきらめず、粘り強く」の評価が、生徒・保護者・教職員の三者とも他の項目に比べて低いポイントであることから、継続して取り組む必要があります。

(2)学習面について

「家庭学習の習慣」が今年度も三者同様に低い評価となっています。この項目はすべての項目の中でもとりわけ低く、教職員の授業改善と家庭の支援をもとに学校と家庭がより連携して検討していく継続課題です。

(3)学校規律について

生徒・保護者・教職員三者の評価は、良好と判断できます。

3、全国学力・学習状況調査（平成30年4月17日実施）について(参考)

国語A(知識)、国語B(活用)、数学A(知識)、数学B(活用)、理科、生徒質問紙による学習状況調査の6項目において実施されました。

学力調査は5項目すべてにおいて全国平均、兵庫県平均を上回っていました。

生徒質問紙による学習状況の特徴として、

良い点➡ 59項目中、46項目が全国及び兵庫県と比べて、同じまたは上回っていました。

課題点➡「家で、学校の授業の復習をしていますか」

「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか」

の2項目が全国及び兵庫県と比較して4年連続（H27～H30）で低いポイントでした。

以上1.～3.に述べましたとおり、学校教育アンケートによる学校評価と全国学力・学習状況調査などの分析・検討をもとに、今後の課題設定を明確にし、具体的な取り組みを進めていきたいと考えています。なお、ホームページにおいても後日公開いたしますので、どうぞ閲覧してください。